

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	東広島市 (34212)
地域名 (地域内農業集落名)	入野地区 (大矢東・大仙、大矢中、大矢後、木梨、打森、重広、有田陰地、有田、清水川、杣木、上徳広、栃木、徳広、中倉、次郎丸、門、松永、刈安、元清、中屋谷、神田、滝川、産湯川、上郷西、上郷中、上郷東、陰地、下郷、失平、大内原、元兼)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	316.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	236.3 ha
② 田の面積	276.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	40.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	80.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・入野地区は、入野地区ほ場整備事業等により基盤整備事業を実施した水田地域であるが、平成30年7月豪雨災害により多大な農地災害を被ったことや担い手の不足等により、不作付地の増加がみられる。
 ・中山間急傾斜地にあたり鳥獣被害が多く、今後高齢化の進行による将来的な農地保全への危機感から、大内原地区では平成24年に農事組合法人大内原を設立して農地の集積を図ったほか、住民自治組織「篁の郷」農業部を中心に、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払交付金制度を活用し、地域内の農地等の保全と環境形成を図るなど、将来に向けた農業の維持に集落単位で取り組んでいる。
 ・令和5年7月に実施した農業経営に係る意向調査では、規模拡大意向のある経営体が見られたものの、回答者のうち、規模縮小意向が52%(経営面積80ha)に上ったことに加え、後継者のいない経営体が66%(経営面積92ha)に上り、地区の現状としても「高齢化の進行」や「耕作放棄地の増加」の回答が多かった。今後必要な取組みとしては、「有害鳥獣対策」や「地域外からの新たな担い手の確保」が多い状況であった。
 ・中山間集落戦略においても、法面や水路・農道等の管理負担の増加、鳥獣被害の深刻化、担い手の不足等が課題として挙げられている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・引き続き、水稻を主要作物とするほか、園芸作物の栽培拡大を図る。
 ・地域が協力して若い農業者を支援し、新たな担い手の育成及び定着を促進する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・地区内全域を農業上の利用が行われる区域とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	11.4 %	将来の目標とする集積率	50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・農地中間管理機構を活用して、担い手や拡大意向のある農業者を中心に地域事情を考慮しながら団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・規模縮小や離農を検討する農家があった場合には、農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し担い手や拡大意向のある農業者に集積・集約化することにより、耕作放棄地の発生防止や解消に取り組む。 ・集積に向けては、取水、排水の利便性を考慮する必要があるため、水利状況の把握にも努める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農業をリタイア・経営転換する者は、目標地図に基づき、農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組
・ほ場整備の必要性について、地域での話し合い等を通じて検討を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内で後継者の確保・育成を図るが、意向調査において、新規就農者や農業企業の受入れに前向きな回答が70%と高かったことから、地域内で受け手のない場合は、地域外からも担い手を受け入れることを検討する。 ・地域外からの担い手の確保に向けて、集落内で担い手や農地利用に関する情報整理に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・委託により効率化が見込まれる農作業については、必要に応じて委託を行う。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害が拡大しないよう電気柵等、防護柵を設置及び適切な点検・管理を行うとともに、活動範囲が拡大しないよう、荒廃農地などの発生を抑える。また、猟銃免許取得者の増員を図る。
③作業の省力化に向けて、スマート農業機器の導入について積極的に検討を行う。
⑦農用地等の畦畔管理の省力化及び景観維持のためセンチピードグラス(ムカデ芝)の吹き付けに取り組む。また、多面的機能支払交付金事業に継続して取り組み、個別経営の担い手へ更なる農地集積・集約を進め、地域の農業生産体制を整備強化し、担い手と地域住民が一体となって協力・役割分担により農地や農業用施設(水路・農道)の保全管理を図るとともに、次期リーダーの育成を図る体制づくりに取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計		76経営体		107.3 ha	0 ha		107.3 ha	0 ha	

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
62	利用者	水稲、野菜	0.4 ha	ha	水稲、野菜	0.4 ha	ha	桃	
63	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	桃	
64	利用者	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	桃	
65	利用者	水稲、野菜	0.3 ha	ha	水稲、野菜	0.3 ha	ha	桃	
66	利用者	野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	桃	
67	利用者	野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha	桃	
68	利用者		0.3 ha	ha		0.3 ha	ha	桃	
69	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
70	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
71	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
72	利用者	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	桃	
73	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
74	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
75	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	
76	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha	桃	